熊野町の未来ある子ども達

～将来を生き抜く力を～

文教委員会

６月３０日、文教委員会を開催し、教育部の各課から次の内容について説明を受け、質疑を行いました。

（１）熊野町教育行政施策の方針
（２）熊野町教育委員会の組織（学校教育課・生涯学習課）
　　及び教育費の予算
（３）学力向上事業の組織体制
（４）平成２８年度熊野町標準学力調査結果の概要
（５）平成２８年度の主要事業の実績状況
（６）平成２９年度の主要事業の実施計画

▲ 委員会の様子

●主な質疑（抜粋）

Q.「主体的な学びを促す授業の創造」とは、実際に教員がどのような授業の工夫をしているのか？

A. 主体的な学びは３つ。
①児童生徒を起点とする。
②能動的－子どもが自ら学んでみたいと思う。
③深い学び－教科のねらいを達成する。その延長にある、身に付けたい資質・能力を明らかにし、育成していくために取り組む。

▲ 話を聞くときの姿勢（PPG※）

Q. 学力だけでなく、人間的な部分も大切ではないか。学校教育の中で、どのように指導されているのか？

A. 新しい指導要領では「生きる力」ということになる。何ができるようになるか、何をどのように学ぶか、様々な場面を通して目指す姿になるよう努力している。

Q. 現在の学校現場に問題はないのか？

A. 問題は全くないわけではない。教え育てるのが教育である。「知・徳・体」をバランスよく育てることが、生きる力である。何か問題があったとき、それを今までの経験から解決することができる力を育てることが大切だ。

※ＰＰＧとは … 足はペッタン（Ｐ）　背すじピン（Ｐ）　おなかと背中にグー（Ｇ）ひとつ　の姿勢

施設整備の進捗を確認

～西部ふれあい広場、くまの･みらい交流館大型遊具～

産業建設委員会

６月１９日に産業建設委員会を開催し、建設部及び水道部の各課から「平成２８年度の主要事業の実績」、「平成２９年度の主要事業計画」について説明を受け、質疑を行いました。

また、今年度の活動計画を策定し、次の３点を重点調査項目とすることに決定しました。住民生活の利便性向上と安全性の確保につながるよう調査、研究を行っていきます。

（１）熊野団地地区都市再生整備計画事業について
（２）筆の里工房周辺整備について
（３）町道改良工事について

なお、建設部の主要事業である「西部ふれあい広場」と「くまの・みらい交流館大型遊具」の整備状況について現地視察を行い、進捗状況を確認しました。

▲ くまの･みらい交流館大型遊具

▲ 西部ふれあい広場

このメンバーで「くまの議会だより」を編集していきます

議会広報特別委員会

▲ 議会広報特別委員

今号から、常任委員会の３名を加えた８名で「議会だより」を作成することになりました。

年４回の発行ですが、定例議会や委員会活動等を、町民の皆様により多くお知らせできるよう取り組みます。

委員長	諏訪本　光	副委員長	立花　慶三
委　員	荒瀧　穂積	委　員	民法　正則
委　員	片川　　学	委　員	沖田　ゆかり
委　員	竹爪　憲吾	委　員	尺田　耕平

今月の表紙

第10回城本杯空手道交流大会の様子
（熊野第二小学校３年）
岩井　千奈さん

城本杯第１回は平成20年６月１日に町民体育館で開催された。故城本正昭氏は昭和47年、熊野町スポーツ少年団を発足し、本部長として、熊野町の子ども達の育成に尽力した。明治大学時代、空手道を会得、体得し、師範として熊野の子ども達に空手道を指導しており、昭和50年に熊野空手スポーツ少年団を立ち上げ、母体の全日本空手道連盟和道会城空館支部が指導をしている。また、同氏は和道会広島県本部の本部長としても功績を残し、武道家としての【技】の教えは偉大であり、現在は財産として後継に残すため、城本杯交流大会を実施。町内外の多くの子ども達と交流を深める大会に育っている。